

平成27年度第2回団体連絡会議事次第

1. 日時：平成27年9月17日（木）14：00～16：00

2. 場所：（一社）日本建材・住宅設備産業協会 A・B 会議室

3. 議題

（1）挨拶

一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会 専務理事 富田 育男…………… 14:00～14:10

（2）講演

「最近の住宅政策について」

国土交通省 住宅局 住宅政策課 住生活サービス産業振興官 植田 潤次 様…………… 14:10～15:00

（3）関係団体からのお知らせ…………… 15:00～15:50

「リフォームで生活向上プロジェクト」について

住宅リフォーム推進協議会 事務局長 庄司 桂弥 様 (15:00～15:20)

（4）建産協からの報告・他……………15:50～

平成27年度 団体連絡会の開催スケジュール

- ・第3回 12月15日（火）14：00～16：00
- ・第4回 3月23日（水）14：00～16：00

（配布資料）

- 団連27-2-1 平成27年度第2回団体連絡会議事次第
- 団連27-2-2 「住宅政策の最近の動向と既存住宅市場の活性化について」
- 団連27-2-3 平成27年度 消費者向け住宅リフォーム統一イベント
「リフォームで生活向上プロジェクト」実施計画
- 団連27-2-4 「リフォームで生活向上プロジェクト」にイベント登録をお願いします！
- 団連27-2-5 共通コンテンツ説明書
- 団連27-2-6 「リフォームで生活向上プロジェクト始動」吉田会長記者発表概要

（別紙・別冊）

- ・おうちが変われば、笑顔が増える。「リフォームで生活向上プロジェクト」チラシ
- ・こんな家ならいいのにな！「孫・子のホンネ」シニアのリフォームのヒント
- ・マンガでわかる「住宅リフォームガイドブック」

- ・グッドモーニングテーブル（リビングデザインセンター OZONE 共催イベント）
- ・キッチン空間アイデアコンテスト作品募集案内
- ・キッチンスペシャリスト資格試験受験申込書

公益社団法人 インテリア産業協会

- ・第4回「住宅部品点検の日」シンポジウム

一般社団法人 リビングアメニティ協会

- ・パネ協の不燃材「NMウッド」
- ・木製学校間仕切「E C O L E」
- ・木製スピーカー「木奏の空間」

日本住宅パネル工業協同組合

- ・PVC news No.94

塩化ビニル環境対策協議会

平成27年度第2回団体連絡会開催報告



平成27年9月17日(木)、平成27年度第2回団体連絡会が建産協会議室にて19団体等29名の出席者のもと開催された。まず富田専務理事による主催者挨拶の後、国土交通省 住宅局住宅政策課 住生活サービス産業振興官 植田潤次氏より「住宅政策の最近の動向と既存住宅市場の活性化について」と題する講演があった。続いて関係団体ならびに団体会員から事業案内があった。

講演：住宅政策の最近の動向と既存住宅市場活性化について



講師：国土交通省 住宅局住宅政策課

住生活サービス産業振興官 植田潤次氏

1. 住宅政策の動向
 - (1) 住生活をめぐる状況
 - (2) 住生活基本計画の改定
2. 既存住宅市場活性化

住宅政策の動向については、住生活をめぐる状況と住生活基本計画の2つの視点から説明がなされた。まず、我が国の人口の推移と将来推計について、総人口は2010年の12,806万人をピークに、2060年に8,674万人まで減少し、そのうち高齢人口は約516万人が増加する一方、生産年齢人口は約3,756万人に、年少人口は約893万人に減少する見通しが示された。

次に住宅に着目し、2013年現在空き家の総数が820万戸あり、この10年で1.2倍、20年で1.8倍に増加したこと。新設住宅着工については、2014年度には消費税引き上げに伴う駆け込み需要の反動減等もあり88万戸と5年ぶりに減少したことが挙げられた。既存住宅の流通シェアは約14.7%と欧米諸国と比べ1/6～1/5程度、また住宅投資に占めるリフォーム投資も28.4%と、国際比較上低いことが説明された。

住生活基本計画については、現計画の基本的な施策の中に、リフォーム事業者に関する情報提供の促進や、地域工務店等のリフォーム技術の向上等が掲げられていることが例示された。また、本計画の見直しについては、社会経済情勢の変化を踏まえ、既存住宅ストックの活用促進を軸と

した新しい住宅政策に取り組むことが紹介された。

既存住宅の市場活性化については、まず我が国の住宅投資額の累計と住宅資産額との差は、約500兆円に及んでおり、これは築後20年で市場価値が一律ゼロになる現状が原因であることが説明された。そこで既存住宅の建物評価方法が改善されれば、個人が所有する住宅資産額が増大することになり、消費や投資の拡大によって利便性の高い住宅や高齢者向け住宅等への住み替えが促進される。結果として、リフォーム市場の活性化に繋がることが示された。

関係団体からの事業案内



一般社団法人住宅リフォーム推進協議会 庄司桂弥氏

・「リフォームで生活向上プロジェクト」について

冒頭、一般社団法人住宅リフォーム推進協議会の事業活動の概要の案内があった後、「リフォームで生活向上プロジェクト」について紹介があった。これは国土交通省と経済産業省、リフォーム関連団体および事業者が連携して全国各地でイベントを実施し、住宅のリフォームのメリットを消費者に広く周知し、社会的なムーブメントを起こすことを目的とするとの説明がなされた。

今年は特にプロジェクトを盛り上げていくための共通コンテンツの充実をはかり、「シニアのリフォームのヒント～孫・子のホンネ」など冊子物の制作、「リフォームの歌」の制作、リフォームセミナーへの講師の派遣等、ツールの増強を行った。また、公式WEBサイトでは、各イベント情報の公開や、「リフォームの歌」の無料ダウンロード*など、リフォームをするきっかけ作りを支援する企画が紹介され、団体会員に対しても積極的に、「登録イベント」を申請していただくよう、依頼があった。

* 「リフォームの歌」は<http://www.reform-pj.com/>よりダウンロードできます。

会員団体からの事業案内



公益社団法人インテリア産業協会 鈴木 実 氏

- ・「グッドモーニングテーブル」について
- ・「キッチン空間アイデアコンテスト作品募集」について
- ・「キッチンスペシャリスト資格試験受験」について



一般社団法人リビングアメニティ協会 平野 誠 氏
・第4回「住宅部品点検の日」シンポジウムについて



日本住宅パネル工業協同組合 保戸田晴一氏
吉野栄祐氏
堀 謙二氏
・「新商品開発事業」について

保戸田晴一氏



吉野栄祐氏



堀口謙二氏

建産協からの報告・他

- ・平成27年度団体連絡会の開催予定日時
第3回 12月15日(火) 14:00~16:00
第4回 3月23日(水) 14:00~16:00

(※建産協ホームページ内の会員専用コーナーより関連資料がご覧いただけます。)